

J-130SX ジェットランチャー シングル コンパクト

このたびはジェットランチャーをお買い上げいただきありがとうございます。組み立てる前に下記を良く読んで組立てをしてください。各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

パッキングリスト 箱に入っているパーツを確認します。

番号	品番	名称	数量	税別価格/1個	税込価格/1個
1	JS201	取手パイプ J-130S&SX用	1	¥6,500	¥7,150
2	JS101	レールフレームセット、レール&エンドキャップ付	2	¥9,600	¥10,560
3	IB050120AA	38角ブラケットリブ付120mmB (旧品番JS209)	4	¥2,000	¥2,200
4	JL104	ランチャー用すべるレール 1.33mブルー	2	¥1,350	¥1,485
5	Z6028-1	38角用エンドキャップスリット丸穴付黒	2	¥600	¥660
6	IB040090AA	38角ブラケット90mm (旧品番JS205)	4	¥1,500	¥1,650
7	JS210	フットパイプ445mm J-130SX	2	¥1,500	¥1,650
8	JS212	車軸シャフト J-130SX	2	¥1,800	¥1,980
9	JS211	車軸シャフトカラー J-130SX	2	¥600	¥660
10	JS203	スタンドパイプ400mm	2	¥1,500	¥1,650
11	JS204	スタンドパイプ200mm	2	¥1,000	¥1,100
12	Z6037	プラスチックスレ止(ボルトM6-65,M6-70,ナット付)	2	¥540	¥594
13	JS220	J-130SX用ノブナットM6φ50黒+ボルトM6-65	2	¥540	¥594
14	P04-8-50	SUS六角ボルト8-50	4	¥80	¥88
15	P05-08	SUSスプリングワッシャーM8	4	¥10	¥11
16	P07-08	SUSナットM8	4	¥30	¥33
17	P17-16	ボルトM8-55 テンゾウナシ(ピン)BY、ホール、F800	4	¥250	¥275
18	P13-130	Rピン	4	¥160	¥176
19	TA40F	Fタイヤヘアリング18x9.50-8新キャップ	2	¥15,800	¥17,380
20	JL100	ランチングフック ステンレス製	1	¥1,700	¥1,870
21	JL405	ランチャー&J-2000用ロープφ8φx1.2M	1	¥500	¥550
22	Z521	Dリング	2	¥250	¥275
23	P03-6-52	SUSプラスチック6-52 切詰	16	¥120	¥132
24	P23-06	SUSフランジナットセレート付 M6	18	¥70	¥77
25	P03-6-45	SUSプラスチック6-45	2	¥65	¥71

JL104付 & エンドキャップ付

2番に付いています

2番に付いています

■組立手順 ※ 組立てをする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。

1 レールフレームの組み立て(左右2本)

A. レールフレームのレール部を上にして下側にジョイントブラケットBを差して穴を合わせプラストラスビスM6-52を差し込み 反対側よりフランジナットM6で取付けます。

※プラストラスの頭がジェットランチャー完成時に外側にくるように差込向きに注意！してください。

2 フットパイプの組立て(前後2本)

B. 車軸シャフトに車軸シャフトカラーを(穴が外端の向きで)端にかぶせM6ボルト用の穴を合わせます。

次にフットパイプにジョイントブラケットAをナナメカット部が内側に向くように差込み穴を合わせます、そこへさきほどの車軸シャフトを両サイドから差しジョイントブラケットA、フットパイプの外側穴を合わせプラストラスビスM6-52を差し込み反対側よりフランジナットM6で取付けます。

さらにフットパイプ外側の穴にプラストラスビスM6-45を差し反対側よりフランジナットM6で取付けます。

もう1つのフットパイプはジョイントブラケットAのみを組付けます。

※プラストラスビスの頭がジェットランチャー完成時に外側にくるように差込向きに注意！してください。

3 フットパイプとスタンドパイプの組み立て

C. フットパイプにスタンドパイプ400mmをフットパイプ車軸フレーム付にスタンドパイプ200mmを差込み、ボルトM8-50、スプリングワッシャーM8、ナットM8で取付けます。

4 フットパイプとフットパイプ車軸フレーム付をレールフレームセットに取付け

D. レールフレームセットを逆さまにして、2本平行にならべ、レール端に付いているブラケットにフットパイプ車軸フレーム付を差込み、レール中ほどについているブラケットにフットパイプセットを差込みます。

E. タングピンM8-55とRピンにて取付けます。

5 取手パイプの取付け

F. レールフレームパイプの中へ差込みます、この時上下の向きに注意してください

差込みましたスレ止めにボルトM6-65を差し込み、ノブナットM6φ50黒にて締めます。

G. ランチングフックをロープにて取手中央へ結びます(アイストラップに直に結ばずに、アイストラップに通して必ずパイプに結んでください)

最後にタイヤを車軸へ差込んで、抜け止めDリングを差して完了です。

■使用上の注意

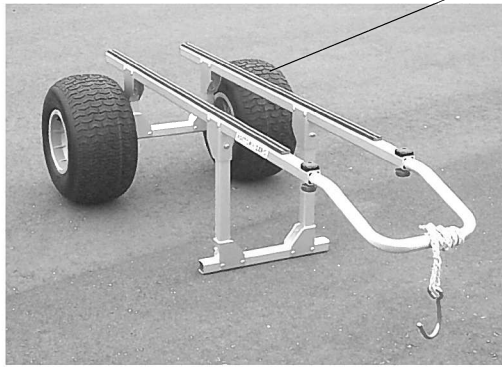
●一人乗りジェット以外は載せないでください、破損の原因になります。

●ジェットランチャーを使用する前に必ずネジ、ボルト類の点検、締め直しをしてください、緩んだまま使用しますとフレーム等破損の原因になります。

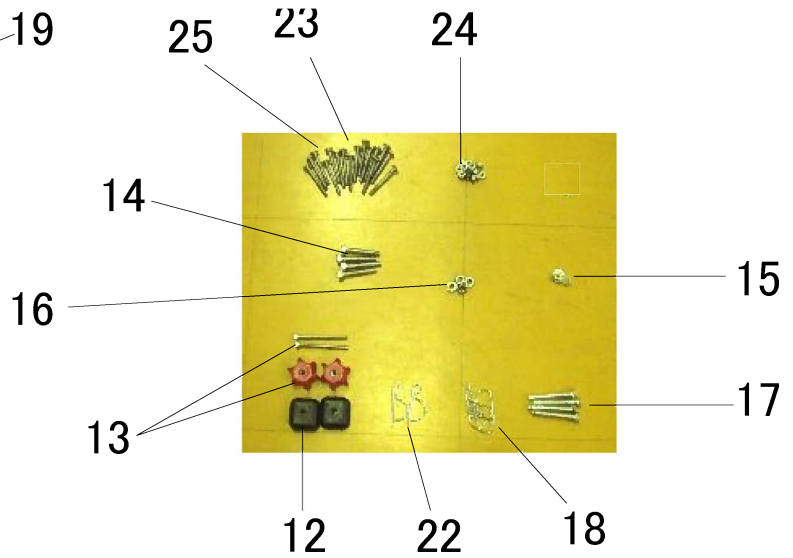
●悪路等走行する場合は前方の安全や路面状況を、よく確認してご使用ください、無理をしますとフレーム等破損の原因になります。

●輸送時は必ずランチングフックを艇にかけてください。

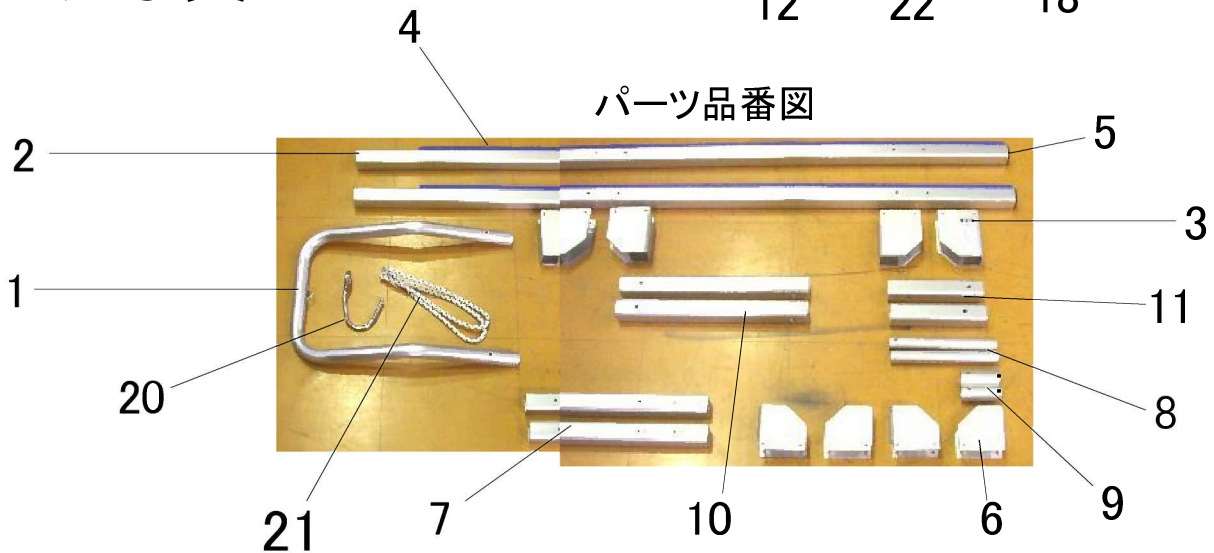
J-130SX



完成写真



パーツ品番図



A レールフレームにジョイントブラケットBをトラスビスでナナメカット部が内側の向きに2個取付けます。完成時トラスビスが外側の向きになります。

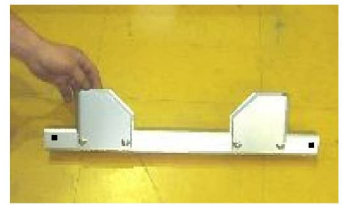


B 車軸シャフトに車軸シャフトカラーをかぶせM6ボルト用の穴を合わせます。

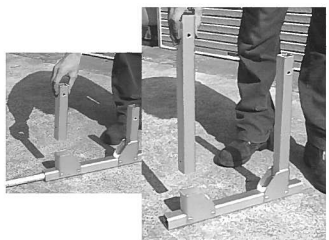


車軸は2ヶ所で固定

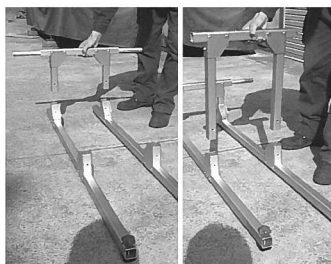
フットパイプにジョイントブラケットAを写真の向きにかぶせ先程の車軸シャフトをカラー側からフットパイプに差しジョイントブラケットA、フットパイプの穴をM6-52、外側はM6-45で取付け。完成時トラスビスが外側の向きになります。



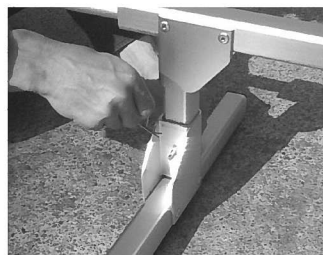
もう一つのフットパイプはジョイントブラケットAのみを組付けます。



C フットパイプにスタンドパイプ400mmを差込み、車軸フレームを組んだフットパイプにスタンドパイプ200mmを差込みM8ボルト類で固定します。



D レールフレームにフットパイプを差込みます。車軸付きはレールパイプの端側です。



E タングピンM8-55とRピンにて取付ます。



F レールフレームパイプに取手を差込みスレ止め、ボルトM6-65、ノブナットM6Φ50黒にて締めます。



G ランチングフックをロープにて取手に結び完成です。

取扱上の注意事項

ご使用前に必ず熟読しお守りください！ 取扱説明書、パーツ表等は大切に保管してください。



●段差のきつい所での走行や内輪差による後輪の衝突などに注意してください、破損の原因になります。



●坂道では十分に減速し走行してください、急な動作で艇がズれる場合がありますので注意してください。



●取っ手部での艇による手の巻きこみに注意してください。



●ジェットを水に降ろすとき、ジェットランチャーがタイヤの浮力の反動で飛び出てくる恐れがありますので注意して下さい。



●ジェットの上面に人を乗せての走行は危険ですのでおやめください。



●タイヤを車内に入れる際は0.5kgに減圧して下さい。(別途タイヤ取扱説明書を参照して下さい。)

- ご使用前には必ずボルトやネジ、リベット等のゆるみがないか確認してください。ゆるんだまま使用しますと事故、破損の原因になります。
- ジェットランチャーをご使用の際は必ず複数人にて行ってください。
- 輸送時は必ずランシングフックを艇にかけてください。
- 各ジェットランチャーの適応PWC以外は絶対に乗せないでください。破損の原因になります。
- 動力等での無理な牽引は絶対におやめください。バギーでの牽引の場合は別途オプションにてJL268 カプラーキットがございます。
- 悪路等走行する場合は前方の安全や路面状況を、よく確認してご使用ください。無理をしますとフレーム等破損の原因になります。
- 水が浸入した艇は予想以上に重量が増えていますので必ず排水してから乗せてください。
- 定期的にジェットランチャーの各部が磨耗していないか等を確認して、磨耗していた時はすみやかに部品を交換してください。そのまま使用しますと事故、破損等の原因になります。
- すり減ったレールでのご使用はリベット等で船体が傷つく恐れがあります。必要に応じて交換してください。
- 艇によってはレール幅が合わずライドプレート等でフレームに傷がつく恐れがあります。
- ジェットランチャー使用時、使い方によっては艇に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。
- 長期にて保管される場合はタイヤの空気圧等を定期的にチェックしてください。
- 素手足で不用意にパイプのカット部等触れますとケガの原因となります。必ずグローブ&ブーツを着用の上ご使用下さい。
- 高い位置からの 乗せ移し(トラック荷台等)は危険です。またランチャーの破損の原因になります。
- その日の気象状況を十分に確認し、波風が強い日はご使用をおやめください。状況によっては乗せ上げの際、艇に傷がつく恐れがあります。
- 荒れた海面でのご使用はジェットランチャーが暴れますので十分にご注意ください。
- 万が一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

タイヤご使用上の注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
弊社のエアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

TA40F/TA40G/TA40J (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チュープレスタイヤですのでチューブは入っておりません。
- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。特に夏場は直射日光で内圧が高まりますので必ず数値内でご使用下さい。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が低下するとタイヤの内圧が下がり、チュープレスタイヤなので空気が抜けてしまう場合が有ります。船を載せて保管される場合は時々空気圧のチェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置すると、ヒビ割れして空気の再注入が不可能となってしまいます。長期保管の場合には、台車の下にブロック等を入れておく事をお勧めします。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生します。時々点検していただくようお願い致します。

TA40A(アルミランチャー、トランサムドローリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。
- 交換用タイヤ(外側)とチューブは別途販売しています。適宜交換下さい。

TA30D(サーフ系ランチャー、Z071 前輪等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0kg～1.5kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。

上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります。ベアリング部にはグリス等を塗布しないようにして下さい。砂、埃、が付着して磨耗の原因となります。ベアリング部は良く水洗いしてください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気は、ガソリンスタンド等に置いてある自動車、バイク用の空気入れで入れられます。一般自転車用の空気入れではバルブ形状が合いません。詳しくはHPをご覧ください。

空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1